文法基礎

Part I

- [1] INTRO
- 【2】文の構成
- 【3】be動詞と一般動詞
- 【4】一般動詞の訳

なぜ 日本語を 英語の語順に しないといけないのか!

1. 英語の語順に合わせて、日本語の訳をする。

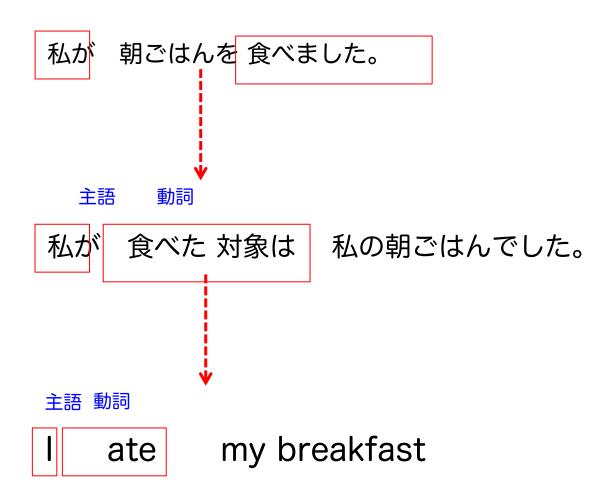
I eat my breakfast

主語

動詞

(私が 食べる 対象は 私の朝ごはんです)

2. 日本語を、S+Vの順ににする。



なぜ日本語を英語の語順に しないといけないのか!

- 外国語を上達する近道は言葉の感覚を身につける ことが最重要
- 2. 英語の構造は、日本語の対極
- 3. 日本語が母語の人が、英語の感覚を身につける唯 一の方法は、日本語を英語の語順に合わせること
- 4. できれば日本語も「主語+動詞」順に話す習慣をつけることも良い

なぜ日本語を英語の語順に しないといけないのか!

・600時間と2200時間の差

アメリカ人が日本語を習得する平均時間は2200時間

Foreign Language Study Time		
難易度	必要時間	言語
Level1	600	French, Italian, Spanish, Darnish
Level2	750	German
Level3	900	Indonesian, Swahili
Level4	1100	Greecian, Vietnamese, Slovekian
Level5	2200	Japanese, korean, Chinese

この違いは?

その違いは?

1、語順が違う。

英語 (主語+動詞)

 \longleftrightarrow

日本語 (主語+目的語)

2、 思考法が違う

英語 (自己中心思考)



日本語 (全体中心思考)

- 3、 数字の単位
 - ・英語には万、億、兆の単位が存在ない。
 - ・1, 10, 1000, その後は、1000単位で表す
 - · million, billion, trillion, quadrillion..

だから、 日本人が 英語を上達するためには

 日本語の語順を 英語の語順に
 日本語の感覚を 英語の感覚に

変えることが 最重要ポイントです。

日本語の語順を英語の語順に する方法

【Step1】主語+動詞で語順で訳する

【Step2】前置詞の訳を語順にする

2. 日本語の語順を英語の語順にする効果

1. Reading: 読む順番に、内容が風景として浮かぶ

2. Listening: 聞く順番に、内容が風景として浮かぶ

3. Speaking: 語順通りに話す内容を埋めるだけ

4. Writing: 語順通りに書く内容を埋めるだけ

I eat my breakfast.

【Step1】主語と動詞の順で訳をする

→ 私が 食べる 対象は 朝ごはん。

I go to the park.

【Step1】主語と動詞の順で訳をする

【Step2】前置詞句を語順で訳をする

→ 私が いく 到達点は その公園。

I read Harry Porter with my daughter.

【Step1】主語と動詞の順で訳をする

【Step2】前置詞句を語順で訳をする

→ 私が 読んだ対象は Harry Porter 一緒の対象は 私の娘。

I go to the park for walking with my dog.

【Step1】主語と動詞の順で訳をする

【Step2】前置詞句を語順で訳をする

→ 私が いく 到達点は その公園、目標の対象は 散歩、一緒の対象は 私の犬です

Reading Basic Part I

【2】文の構成

- ①基本文
- ②主語
- ③動詞

基本文

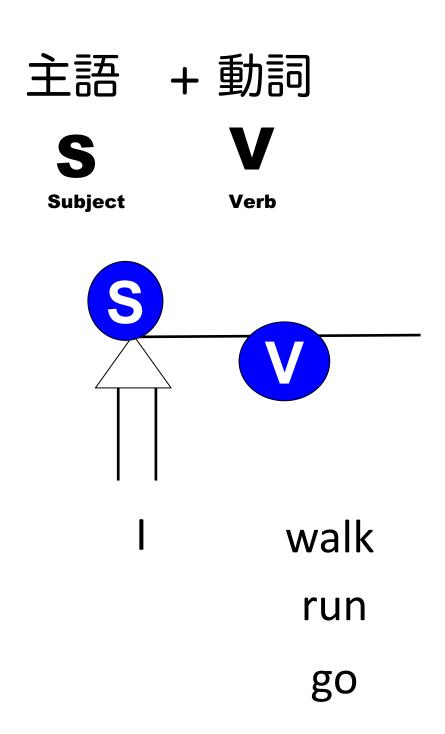
文の構成

主語

動詞

英語の基本文は 全て 主語+動詞」の 構造

1. 英語の文は全て「主語+動詞」の構造

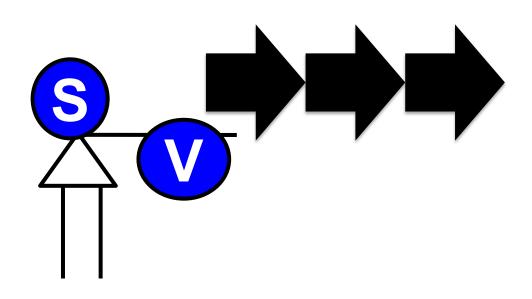


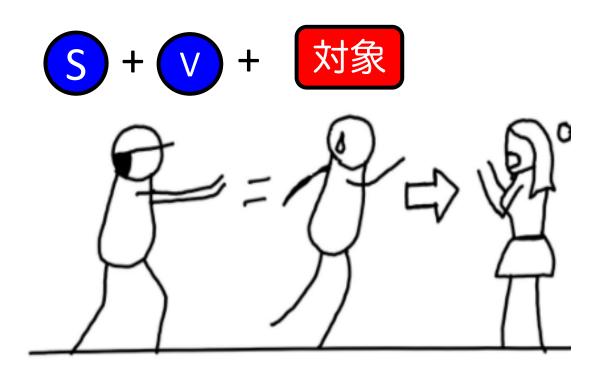
1. 英語の文は全て「主語+動詞」

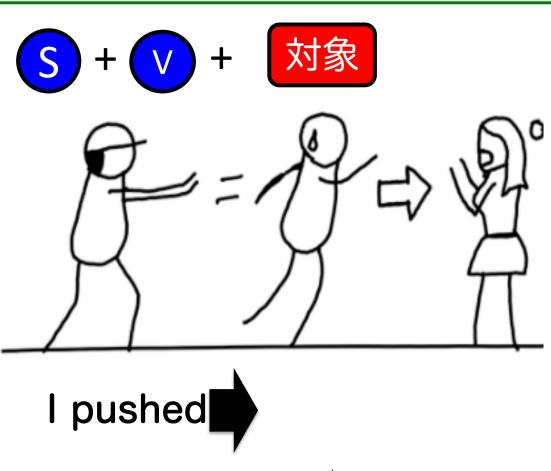
・英語の5文型

2. 主語から展開

英語の文の構成は、 主語から 近い順から 遠い順へ 展開







I pushed <u>him</u>

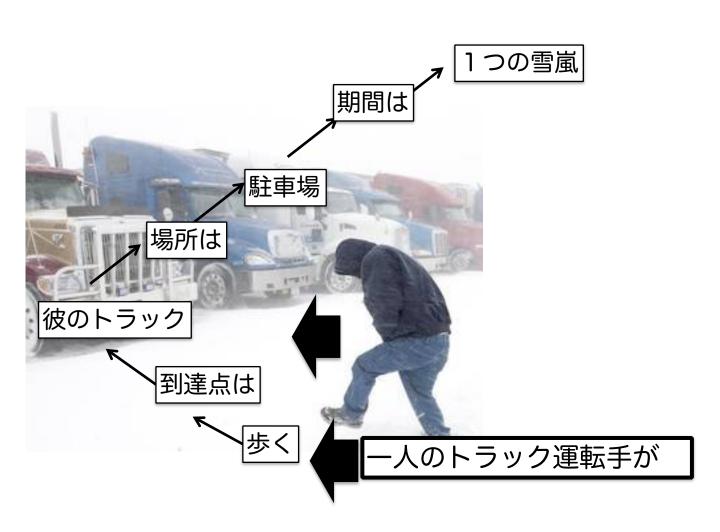


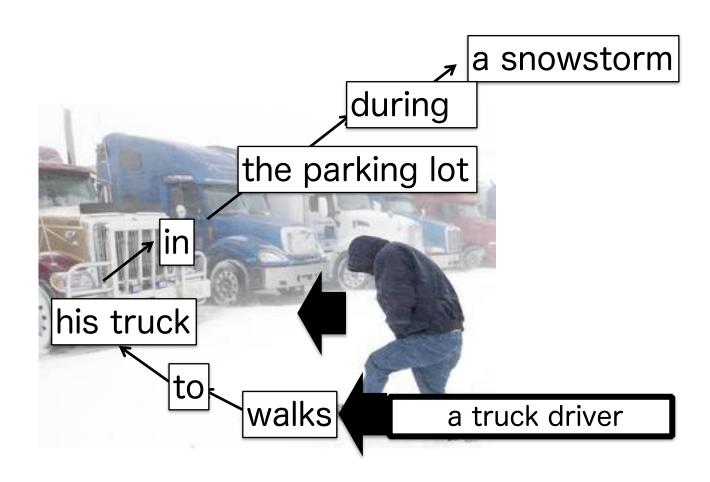
I pushed him to



I pushed him to her.

(私が 押した対象は 彼 到達点は 彼女)





文の構成
主語
動詞

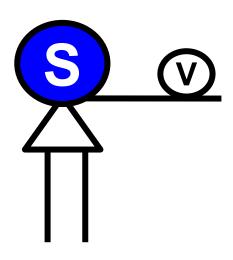
「主語」になれるもの

1. 「主語」になれるもの

「主語」によくなるものは、

- 1. 人(人称代名詞)
- 2. 物
- 3. こと

(食べること=eating、 走ろうとすること=to run など動詞を名詞に変えたもの)



1)人(人称代名詞)

I go
You go
He goes
She goes
We go
They go
Tom goes

2)物

The cup is full.

(そのカップは 状態である いっぱいの状態)

The building is big.

(そのビルは 状態である 大きい状態)

His car looks great.

(彼の車は 状態である 良い状態)

Smoking is not good for health.

(タバコを吸うことは よくない状態 思いが向かう対象は 健康)

Running is good for you.

(走ることは 良い状態 思いが向かう対象は あなた)

To make new friends is not easy.

(友達を作ることは 簡単でない状態)

Reading Basic Part I

【3】be動詞と一般動詞

| 基本文 | 基本文 | 主語 | 文の構成 | 動詞 |

主語の次は動詞

1 動詞

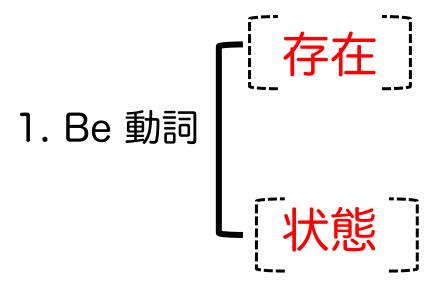
-般動詞

1. 動詞の種類

1. Be 動詞

2. 一般動詞

2. Be 動詞の種類



3. Be 動詞の訳

--- "存在である" "状態である"

1. be動詞の訳

訳:"存在である"

I am a boy

(私は 存在である一人の少年)

2. be動詞の訳: 状態

訳:"状態である"

He is tall.

→彼は 背が高い状態

The rock is big

→その岩は 大きい状態

The bee is small.

→その蜂は 小さい状態。

1 動詞 be 一般動詞

一般動詞の種類

一般動詞の種類

一人で存在できるから自らの動 = 「自動詞」 と言う

She runs.

The wind blows.

一般動詞の種類

相手(対象)を必要とする動詞=他動詞という

I ate breakfast.

一般動詞の訳

(動詞の語尾に対象(人、物、こと)を具体的に明記する)

She likes Jimmy.

(彼女が 気に入った人は Jimmyです)

He ate my breakfast.

(彼が 食べたたものは 私の朝ごはんでした)

I stopped to smoke.

(私は 止まって タバコを吸おうとした)

I stopped smoking.

(私は やめたことは タバコでした)

注意動詞:look

Look:目を向ける

see:見る、見える

① She is looking at you.

(彼女は状態である 目を向ける 一点の対象はあなた)

1 can see from here

(私が見ることができる 出発点は ここ))

注意動詞:listen

• Listen: 耳を向ける

• hear :聞く

(1) I listen to the radio.

(私が 耳を傾ける 到達点は そのラジオ)

②I can hear your voice.

(私が 聞くことができる対象は あなたの声)

注意動詞: 伝達動詞

(「人」と「もの」とを明記する)

$$S + V + O + O$$



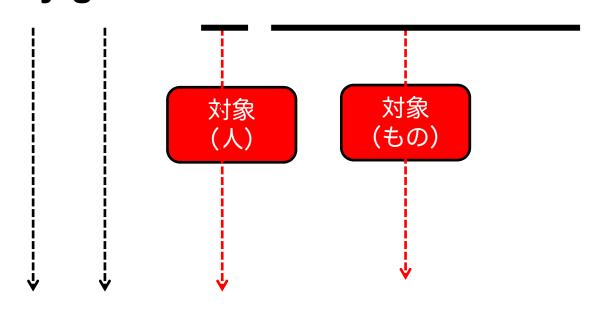
対象2 (もの)

対象が2つ登場する一般動詞(伝達)の訳

訳 : "動詞の意味"+ 人は+ものは、

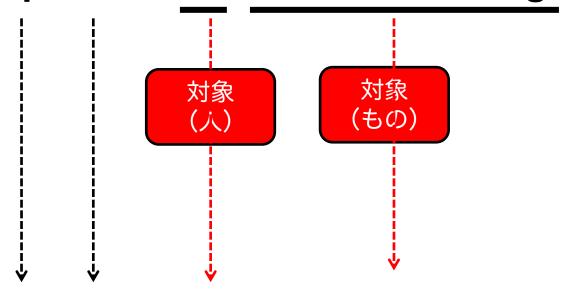
対象1(人) +対象2(物)

They gave me a new notebook.



彼らが くれた 人のは 私、 ものは 新しいノートブック。

I presented her a diamond ring



私がプレゼントした 人は 彼女、ものは 1つのダイア指輪

伝達動詞の種類

$$S + V + O + O$$

•直接伝達動詞:

give, deliver, send, lend, hand, pass

•間接伝達動詞:

cook, buy, show, teach, pay, bring